

市民連合

山梨ぐんないニュース

第27号

2025年11月発行

発行 市民連合 山梨ぐんない

共同代表 知見邦彦

森山正男

市民連合ぐんない 年間の具体方針決定 10/26

11月26日(水) 北富士演習場 米軍実弾演習に抗議の監視活動

12月6日(土) 講演会「気候危機打開には 経済社会変革」に参加

10/26、今年度の具体方針を検討する全員会議を開催、新内閣発足をめぐる情勢を討論し以下の具体的取り組みを決定した。

戦争準備すすめる高市政権

高市政権発足を前後して多くの右翼的な戦争準備の政策が明らかになった。以下に列挙してみる。

10.21 高市新内閣発足 中枢は右翼団体
「日本会議」のメンバー 高市は日本会議議連の副会長、副大臣・政務官に裏金議員、旧安倍派議員、維新・自民の合意文書：長距離ミサイル搭載・長距離・長期間潜航可能潜水艦保有、安保関連3文書改訂前倒し、大軍拡の前倒し実施、防衛費をGDPの2%へ、医療費4兆円削減、県内公立病院の赤字24億円、スパイ防止法制定、9条改憲、国会議員定数削減、「政治と金」先送り、企業献金そのまま、日用品消費税減税先送り、「外国人政策」打ち出し、選択的夫婦別姓反対、国家情報局設置、アベノミクス復活、防衛省は「こども防衛白書」をだした。
それでも新内閣の支持率は70%超。

子ども防衛白書



討論では、「憲法も危なくなるような事態がすすんでいる、今がんばらなくてどーする!」でしょう。最初の行動は米軍の実弾演習抗議と学習・講演会参加です。

11月26日(水) 北富士演習場
米軍実弾演習に抗議の監視活動

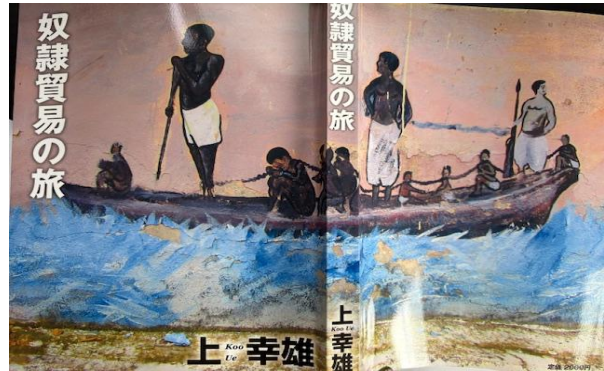
10時 忍野村役場駐車場集合
二十曲がり峠テラスで監視活動

12月6日(土)2時から学習・講演会
「気候危機打開には経済・社会改革」

「西洋近代の罪としての奴隷貿易がたどった道」

“カナー 住民・学生に開かれた学習交流会” 第5回

9/14、古川渡のギャラリーカフェ禾菜（カナー）で5回目の学習交流会が開かれ奴隷貿易の研究者、上 幸雄（うえこうお）さんが奴隷貿易の歴史を告発、現代社会とのつながりを話された。知らなかった刺激的な内容が多く、参加者10数名で活発な質疑が行われた。



私は小学生の頃、枕元に地図帳を置いて、どこそこに行きたいなと夢見る子供だった。大学生になって探検部に入り、世界一長いナイル川に挑戦した。奴隷貿易に関心を持った最初のきっかけだった。百万円ぐらい寄付で支援を受け、日本から漁船に乗って、アフリカに渡った。スーダン、エジプトそして最後はアレキサンドリアまで九ヶ月かけた。が、まだ奴隷貿易についてあまり知識はなかった。やっと定年後に、まとまってアフリカの奴隷貿易について勉強した。

奴隷貿易のきっかけになった。アフリカから奴隷を調達する三角貿易の始まりだった。

三角貿易とはヨーロッパ、アフリカ、アメリカの「三角形」の取引システム。

①ヨーロッパ⇒アフリカ

銃、織物等を輸出、奴隷対象者と交換

② アフリカ⇒アメリカ

アフリカの奴隷をアメリカへ

③ アメリカ⇒ヨーロッパ

奴隷労働による生産物（砂糖、綿花、コーヒーなど）を輸出

コロンブスから 400 年 西洋近代の罪

まず、奴隷貿易とは一体なんだ、という本質に関する話です。マルコポーロの「東方見聞録」により、インドの金銀財宝に目がくらんで欲望が掻き立てられ、ポルトガルのエンリケ王子はインド航路開拓ためアフリカ大陸西岸を南下していった。また、危険なインド航路を探るよりアフリカで財宝を求める判断もあった。これが大航海時代の始まりであり、

アメリカ大陸の奴隷輸入数

奴隷の各国別人数は次の通り

輸入地域	人数 (万人)
北米 (イギリス領)	40
中南米 (スペイン領)	155
カリブ海諸島	380
南米 (ブラジル)	365
その他	18
合計	957

